

令和5年度
事業報告書

自 令和5年4月1日
至 令和6年3月31日

社会福祉法人 入野福社会
ケアハウス 大仙

令和5年度 ケアハウス大仙 事業報告

【 事業活動総括 】

施設経営では、入居者利用率を上げることで安定した運営ができるのですが、近年利用率の低下に伴い赤字施設が約4割にまで拡大し、経営状況は悪化傾向となっているようです。

少ない金銭負担で食事提供や安否確認、生活相談等の支援を受けられるため、入居希望者も少なくありませんが、多くは他者の支援、または介護が必要な高齢者であり、自立した一般型のケアハウスへの入居者は減少しています。

当施設の入居者も減少するばかりで異例の状況です。

新型コロナウイルスの影響により自粛していた活動を再開し、この現状をどうにか打開すべきと特養の相談員は入居者確保に奮闘しましたが、新規入居者数は8名にとどまり、退居者が11名とそれ以上に多く、入居者利用率は57%と低い値で経過し、入居者数は19名(うち入院者2名)に減少し新年度を向えました。

次年度は、この状態の長期化を防ぐための打開策を検討し、入居者25名以上を目指します。

◆施設目標

1. 安定した施設運営をするための入居者確保に努めます。
2. 入居者の皆様に楽しみをもった生活が継続できよう施設環境も整え支援していきます。
3. 家族、他事業所との連携を大切にし、信頼関係の構築に努めます。
4. 感染症の発生を防ぐことができるよう、入居者の皆様にも予防策を講じるよう協力を促し、職員も感染予防策の知識、技術を高めます。

評価

入居者を増やす活動については、特養相談員と、病院、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、社会福祉協議会などに出向き、入居者の紹介をお願いしました。また、地域交流として、認知症ケアの講演で、ケアハウス大仙の知名度アップも図り、なんとか8名入居されましたが、自立生活が困難となって退居者が多く、3月には入居総数は前年度より少なくなりました。

次年度は、今までとは違った方法での紹介先を検討し、入居者確保に努めます。

少ない入居者の方々に対し、満足度を高めようと毎月の行事や、ボランティアとの交流の場を増やし喜んでいただけるよう取り組みました。入居者の年齢を考慮し、皆さんが楽しんでいただけるよう次年度も充実した生活支援を行います。

感染症に関しては、インフルエンザに1名罹患されましたが、集団感染は防ぐことができました。

た。 外部交流の多い入居者様の体調管理も含め、コミュニケーションの場を多く持てるよう努力します。

入院者に関しては、10名と多く、うち5名は長期入院となりそのまま退居されました。持病を持たれた入居者様がほとんどであり、病状の悪化時には医療的治療が必要であるため早期に対応し、外部サービスを利用しながらでも長く生活していただきたいものです。

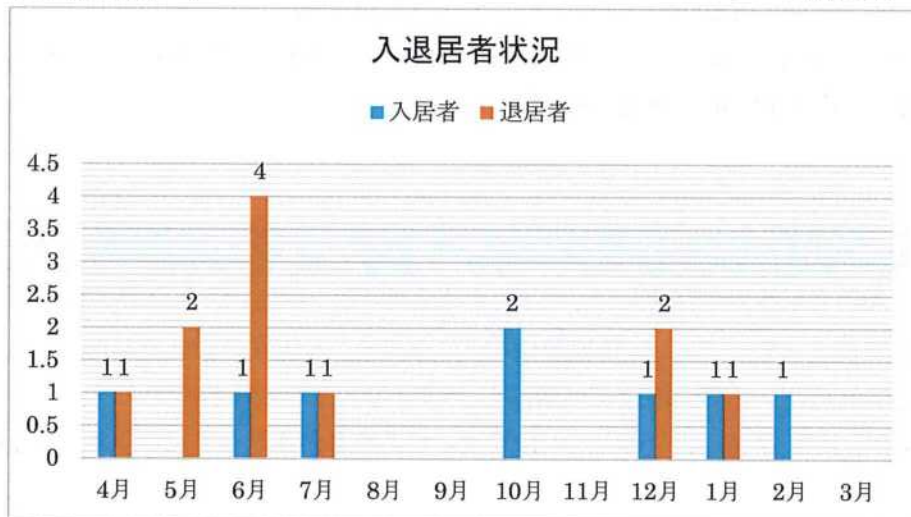
【 入居者数 】

単位：人



【 入退居状況 】

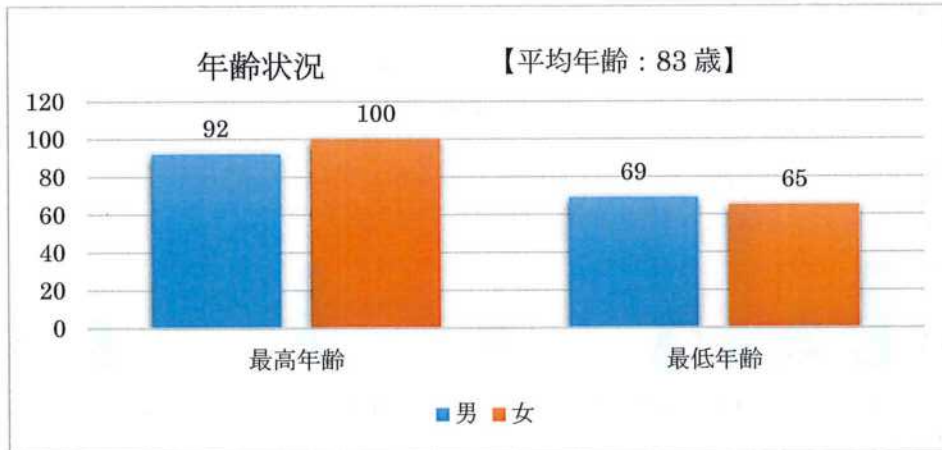
単位：人



退居理由：日常生活に介護が必要となりケアハウスでの生活が困難となったため。

【 年齢状況 】

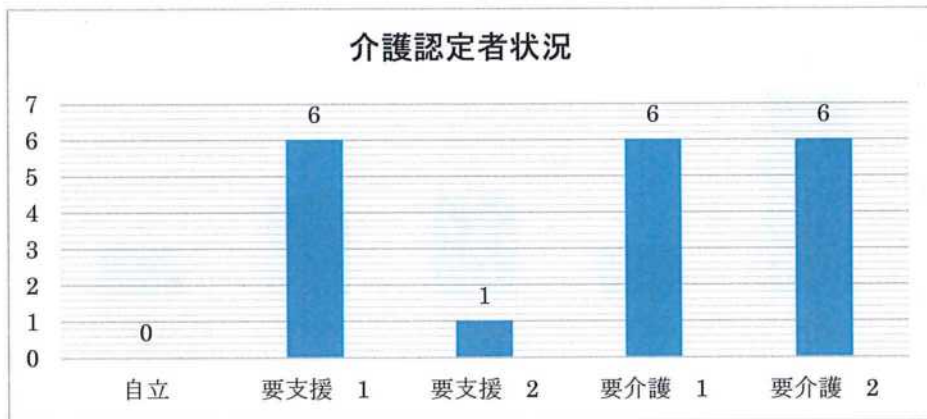
単位：歳



	男性	女性	平均年齢：83歳
最高年齢	92歳	100歳	
最低年齢	69歳	65歳	

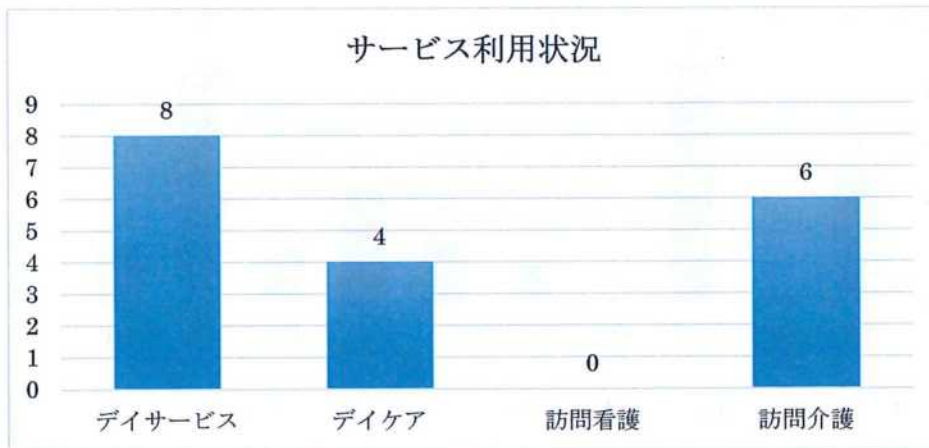
【 介護度状況 】

単位:人



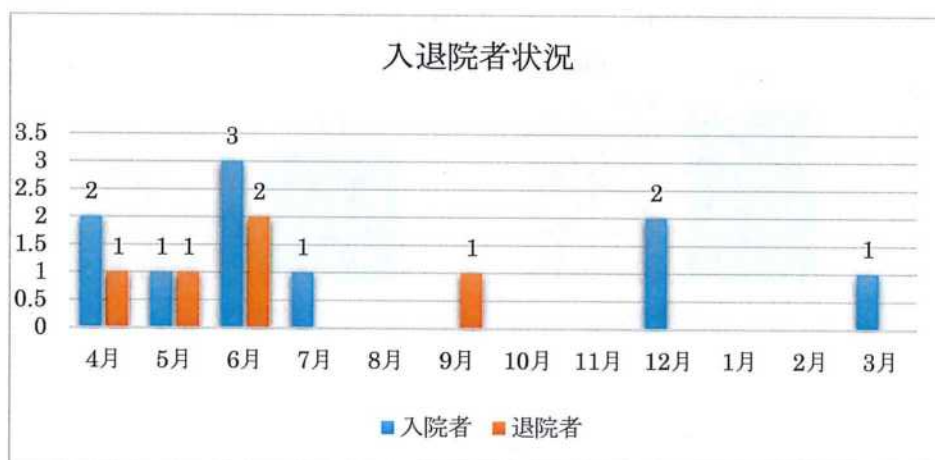
【 介護サービス利用状況 】

単位:人



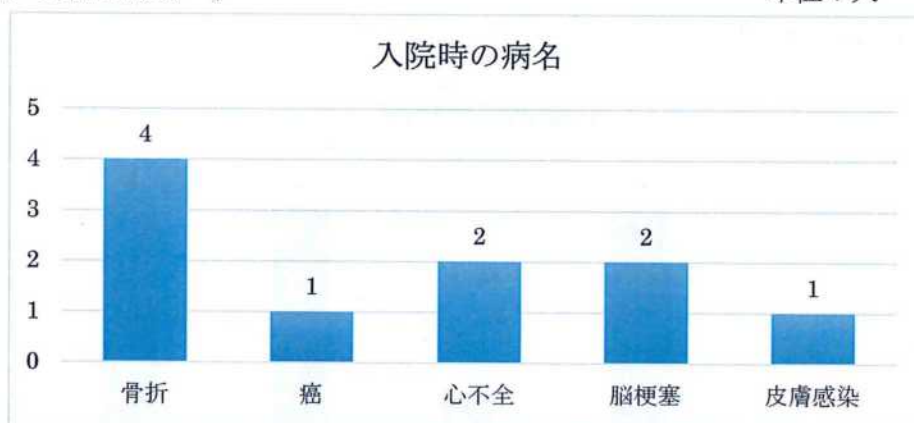
【 入退院者数 】

単位：人



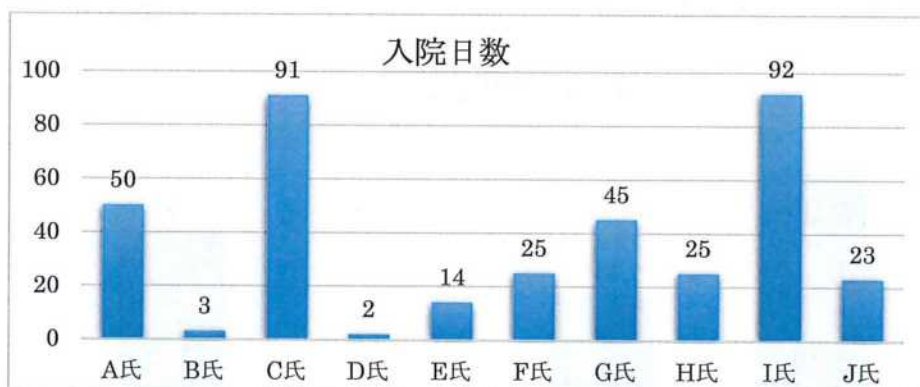
【 入院時病名 】

単位：人



【 入院者日数 】

単位：日



入院者は10名。5名は退院されず病状の悪化により退居されています。
 入院時は救急車搬送が5名であり、5名はご家族が対応しています。

【 事故件数 】

事故件数は転倒が 4 件であり、いずれも骨折されている。

骨折により 4 名は入院となっている。

【入居者収入別階層区分内訳 】

入居者収入別階層区分内訳 （令和 6 年 3 月 31 日現在）

階層区分	所得金額	人 数
1	1,500,000 円以下	14
2	1,500,001 円～1,600,000 円	2
3	1,600,001 円～1,700,000 円	2
4	1,700,001 円～1,800,000 円	0
5	1,800,001 円～1,900,000 円	0
6	1,900,001 円～2,000,000 円	1
7	2,000,001 円～2,100,000 円	0
8	2,100,001 円～2,200,000 円	0
9	2,200,001 円～2,300,000 円	0
10	2,300,001 円～2,400,000 円	0
11	2,400,001 円～2,500,000 円	0
12	2,500,001 円～2,600,000 円	0
13	2,600,001 円以上	0

【 行事活動風景 】

お花見

施設周囲の桜や山吹の花を觀賞し、お弁当をいただきました。
いつもと違うお花見弁当を食べながら春を感じました。



二胡の演奏

日清医療食品の調理士による「二胡」の演奏を聴きました。

「二胡」とは中国の伝統的な擦弦楽器の一種。

2本の弦の間に挟んだ弓で弾く楽器です。

心地いい音色でした。



七夕祭り

短冊や飾りを皆さんと創り、笹竹に飾りました。

今年はどんな願い事をされたのでしょうか？

昼食には、五色そうめんの上に七つの星☆が可愛く飾られていました。



そうめん流し

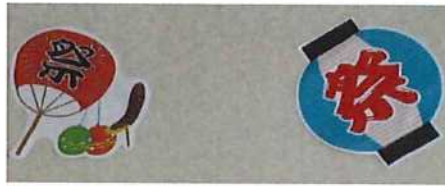
竹にそうめんを流しました。

直ぐに流れるそうめんを上手くすくうには大変でした。



夏祭り

夏の暑さを吹き飛ばすよう夏祭りを開催し、風船すくいや、輪投げ等で楽しい時間を過ごしました。皆さんが体調を崩されないう、職員も体調の変化には注意しました。



敬老会

今年は 100 歳の入居者様がおられ、長寿を祝う敬老会を開催しました。皆さんで綿菓子を作り楽しんでいただきました。





お楽しみ会

感染症により自粛していたボランティアの入設でしたが、今期は花笠踊りや、オカリナを披露していただきました。
次年度は、入居者の方が楽しみを持てるよう取り組んでいきます。



クリスマス会



お正月



おせち料理



節分



雑祭りの会



令和5年度 ケアハウス大仙 年間行事報告書

【目的】

1. 行事を通して入居者・家族との交流を深める。
2. 入居者が楽しみを持ち生活していただくよう支援する。

【目的】

1. 委員会・研修会開催により知識、意識を高め感染症防止、事故の発生防止等に努める。
2. 入居者が安心して生活できるように問題・課題解決へ取り組む。

月	行事	行事内容	会議・委員会・施設行事
4月	お花見 誕生日会	入居者の皆様にお花見弁当を提供し春の季節を感じてもらおう。	研修会 運営会議 ケアハウス便り発行 事故防止検討委員会
5月	アイスクリームバイキング 誕生日会	入居者に握り寿司をバイキング形式で提供する。アイスクリームの日にならんで食べていただく。二胡の演奏会を開催。	研修会 運営会議 電気設備年次点検 感染予防対策委員会
6月	園内散策 誕生日会	園内の紫陽花を見ながら季節を感じてもらおう。入居者様と鈴カステラを作り、会話をしながら楽しい時間を過ごす。	研修会 運営会議 虐待・身体拘束等適正化委員会 消防用設備点検
7月	七夕祭りの会	職員による七夕の会を開催し、入居者が願いを書いた短冊を笹につけながらイベントを開催する。	研修会 運営会議 ケアハウス便り発行 事故防止検討委員会 フロアワックス掛け清掃
8月	夏祭りの会 誕生日会	食堂で綿菓子やかき氷などの屋台を準備して、入居者に食してもらいながら涼夏を楽しんで頂く。	研修会 運営会議 感染予防対策委員会
9月	敬老会 誕生日会	長寿を祝う会を開催する。	研修会 運営会議 虐待・身体拘束等適正化委員会 災害避難訓練(夜間想定)
10月	誕生日会 お楽しみ会	行楽弁当の提供により秋を感じていただく。ポランティア名による三味線、笛、踊りを披露される。	研修会 運営会議 ケアハウス便り発行 事故防止検討委員会
11月	お楽しみ会 誕生日会	オカリナの演奏ひらうされる。	研修会 運営会議 感染予防対策委員会 職員健康診断 インフルエンザ予防接種(入居者/職員) 結核健康診断(入所者)
12月	クリスマス会 餅つき 誕生日会	クリスマス会を開催し、サンタクロースからのプレゼントを手渡す。職員のみ餅つき実施。	研修会 運営会議 虐待・身体拘束等適正化委員会 消防用設備点検 水質検査(27項目) フロアワックス掛け清掃 正月準備
1月	初詣 誕生日会	元旦に近郊の神社に訪問し、新年のお参りをする。	研修会 運営会議 ケアハウス便り発行 事故防止検討委員会 収入申告
2月	節分の会 誕生日会	職員が鬼に扮して紙で豆まきを楽しんでもらい、その後には豆やお茶を召し上がって頂く	研修会 運営会議 感染予防対策委員会 収入申告 新年度事業計画立案 浄化槽法定点検
3月	ひな祭りの会 誕生日会	職員が雄雌雛に扮してひな祭りを祝う会を開催し、甘酒と雛あられなどで楽しんでもらう。	虐待・身体拘束等適正化委員会 避難訓練(日中想定) 年度末事業計画報告 水質検査(27項目)

各種委員会

- ・感染予防対策委員会(3ヵ月/毎)
- ・事故防止検討委員会(3ヵ月/毎)
- ・身体的拘束等適正化委員会(3ヵ月/毎)

各種会議

- ・ケアハウス運営会議
- ・職員研修会

稟議	理事長	園長	事務長	主任保育士	担当者
					

令和5年度 入野光保育園 事業報告書

1. 事業の概要

十分に養護の行き届いた環境の下に、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、健康の保持及び情緒の安定を図った。お陰で子どもが健やかに成長し、その活動がより豊かに展開できた。愛され大切にされる経験が、人への思いやり、強さ、自立心を育んでくれたと感じている。

大きな事故・問題もなく保育ができ、13名の卒園児を元気に送り出せた。

保育目標 「強く・正しく・優しく」
～たくましさと思いやりのある子どもに～

目指す子ども像を

- ・考える子どもに
- ・思いやりのある子どもに
- ・感動する子どもに
- ・思いが表現できる子どもに
- ・根気のある子どもに

として取り組んできた。

留意してきたことは、保育士自身が子どもの思いを共感的に汲み取り、思いやりのある態度で接し、子どもの自己表現を引き出せるようにしたこと。

常に保護者と連携を取り合いながら、目的達成に努めた。

- ・連絡帳（毎日）
- ・個人懇談（4月終り～5月始め）希望者のみ
- ・園だより・クラスだより（毎月）
- ・保育参観（保護者会）（年4回程度）
- ・各組の保育実践の振り返り（毎月クラスだよりで保護者に発信）

給食は、3名の職員が担当し、家庭的な味付けを大事にしなが、乳幼児期という特性を踏まえ、その子どもたちの一生の食生活を形成するという役割を重視して、様々な工夫を凝らした。おやつも手作りを中心とした。

特別な保育事業を実施した。

- ・地域子育て支援拠点事業（月・火・木の週3日実施）
- ・障害児保育事業 4月～3名
- ・私的契約預り保育事業（希望に応じて）・・・今年度4名

2. 園児の状況 定員 80名

	年度初め	途中入園	途中退園	年度末
0歳児	4	4	2	6
1・2歳児	20	5	4	21
3歳児	15	2	1	16
4・5歳児	18	0	0	18
計	57	11	7	61

3.職員の状況

園長	1名	パート保育士	4名
主任保育士	1名	事務員	1名
保育士	8名	(嘱託医)	(2名)
調理員・等	3名	子育て支援士	2名

4.主要年間実施行事

- 4月 入園写真撮影 歯科健診 保護者会総会
5月 個人懇談(希望者) (親子遠足・年長児のみ) 尿検査 健康診断
6月 衣替え プール開き
7月 七夕会 地震退避訓練 シャボン玉会 保護者会 年長児お泊まり会
火災通報訓練 不審者対応訓練 消火器等総合点検・消火器使用訓練
8月 夕涼み盆踊り大会(3・4・5歳児)
9月 プール納め お月見会 敬老会(年長児慰問)
10月 衣替え 健康診断 歯科健診 運動会
11月 園外保育 縄跳び大会 尿検査 餅つき大会
12月 製作まつり
1月 保護者参観〔英会話教室〕 マラソン大会
2月 節分豆まき 消火器等点検 地震退避訓練 火災通報訓練 消火器使用訓練
不審者対応訓練 発表会予行練習 発表会(第4土曜日)
3月 年長児保護者を招いてお茶ごっこの集い
年長児お別れ遠足 園児お別れ会 卒園式
- 毎月・・・交通安全訓練 火災退避訓練 消火器使用訓練 身体測定 お誕生会

<講師を招いて>

英会話教室(月3回) 年長・年中児

講師:ペレズ・クリスティン (フォスター外語学院講師)

お茶ごっこ(月2回) 年長児

講師:平野喜久恵・道正水脈・平賀幸子

囲碁ゲーム(年6回) 年長児

講師:堀江誠及

リズム運動遊び(年7回)

講師:松本雅子・木原涼次

野球教室(年1回) 年長児

講師:伯和ピクトリー選手4名+2名

5.職員研修の状況

○園内での研修

- ・職員会議の折 毎月1回
- ・人権保育について 年5回
- ・子育て支援者会議 年2回

○市・民間保育施設長会 年6回

- ・保育課との連携のもと、保育運営等の充実に努めた。
- ・市保育連盟との連携を図り、保育の質の向上に努めた。

○市・保育連盟

- ・総会・講演会 5月に
- ・全体研修会 年5回
- ・保・小連携推進担当者研修 1回

○特別な支援を必要とする幼児のための保・小接続期の保育研修として

当園が公開保育を実施し、県教委アドバイザーさんの指導のもと、入野小学校より校長と教諭、三原養護学校より教諭を迎えて協議研修を実施した。

○県・保育連盟

- ・保育事業研修大会 2日間
- ・所長研修 2日間
- ・夏季保育研修 2日間
- ・施設長リーダー研修 2日間
- ・園における保護者支援のための研修 1日
- ・教育・保育の質向上のための研修 1日

○キャリアアップ研修 1名参加

6.コロナ禍での園運営

- ・行事は密集を避けたり、時短にするなどの工夫をしたり、消毒の協力をお願いするなどしてして実施できるものは実施した。

特に年長児は、できるだけ思い出に残るよう考慮して取り組んだ。

- ・時折、職員の家族にコロナ陽性者が出たり、園児やその家族に陽性者が出るなどしたが、園は平常通り保育を実施できた。
- ・コロナだけでなく、インフルエンザの陽性者も出て気をもんだが、クラス閉鎖などはなく、無事、年度末を迎えることができた。

2名の卒園児がインフルエンザで式に出席できなかったが、保護者からの要望に応じて3月27日に2家族をお迎えして時短の卒園式を実施した。

